

INTERNATIONAL CHILDHOOD CANCER DAY

2.15 国際小児がんデー



ゴールドリボンは、小児がんの理解と支援を呼びかける世界共通のシンボルマークです。

2月15日は国際小児がんデーです。

世界中で小児がんの子どもたちのための支援を呼びかける活動が展開されています。

子どもにもがんがあります。

ご存じですか？ 小児がんのこと

世界で毎年30万人以上の子どもたちが がんと診断されています。先進国では7-80%の治癒率であることに比べ、発展途上国では80%の子どもたちの命が奪われています。国によって差異なく小児がんの医療が向上し、療養環境が一層整備されていくことを願い、国際小児がんの会(CCI)は毎年2月15日を「国際小児がんデー」とし、世界中でキャンペーンやイベントを実施しています。

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院と公益財団法人がんの子どもを守る会は、小児がんの子どもたちの絵画と作品展を開催致します。国内外の子どもたちの作品をお楽しみ頂き、小児がんの子どもたち、ご家族へのご理解・ご支援の程、お願い申し上げます。

2020年2月3日(月)～2月7日(金) 外来棟 地下1階アトリウム

4日(火)・5日(水) 12:00-14:00 限定でチャリティを行います

500円以上の募金(寄付)を頂いた方へオリジナルチョコレートを差し上げます



いただいた芳志は当会を通して、世界の途上国の小児がんの子どもたちの支援と、日本の小児がん患者・家族支援のために活用させていただきます。